

委員会のインターネット中継 実証実験について

実証実験	平成 29 年 10 月 12 日(木) 決算特別委員会 平成 29 年 10 月 13 日(金) 決算特別委員会
機 材	ビデオカメラ (SONY FDR-AX40) …広報広聴課から借用 三脚 (1.8m) …広報広聴課から借用
撮影時間	12日：午前 9 時頃から午前 11 時 54 分頃まで 午後 1 時頃から午後 2 時 30 分頃まで 13日：午後 1 時頃から午後 3 時 27 分頃まで
撮影方法	第一委員会室の最後方中央に三脚をセットし、12 日は三脚を狭めて最高到達点を高くして、13 日は三脚の下にイスを置いて最高到達点を天井まで上げ、さらにビデオカメラに専用のマイクを取り付けて撮影。
アップ作業	撮影した動画を議会図書室のパソコンに移し、そのパソコンから無料動画サイトの YouTube にアップ。
費 用	0 円 (ただし、同様の方法で本格導入となれば、議会専用のビデオカメラと三脚が委員会室分必要)

< 検証結果 >

作業時間

項目	実証実験	10 時～17 時の委員会 (想定)
ビデオカメラ→PC 転送	3.76GB 2h54m11s…3 分	約 6 分
編集時間	会議前後をカット …約 10 分	10 時～正午、13 時～15 時、15 時～17 時 計 3 回×10 分=約 30 分
YouTube へのアップロード	3.76GB 2h54m11s…8 分	約 16 分
YouTube アップ後の処理	3.76GB 2h54m11s…28 分	約 56 分

○10 時～17 時の 1 常任委員会の処理時間 (2 回の休憩)

約 6 分 (転送) + 約 30 分 (編集) + 約 16 分 (アップロード) + 約 56 分 (処理)

= 約 1 時間 48 分

◎委員会室後方設置カメラ定点撮影の映像で中継の目的を果たせるか。

- ・より開かれた長野市議会となる。
- ・会議録が完成するまでは、いつでも委員会を見ることができる。
- ・複合効果で傍聴者を増やす可能性がある。
- ・委員会室に足を運ばない人も委員会の審査・調査内容を把握できる。
- ・委員会会議録が完成するまでの補完的な記録となり得る。
- ・高額な設備投資をしないので、生中継、ズーム、テロップに対応できない。
- ・正副委員長以外の委員の顔がわかりづらく、理事者は声のみの映像となる。

課 題	見 解
音声が小さい。	ビデオカメラ専用のマイクを設置。 委員会室のシステムからコードを引いて録音できるか検討する。
資料の紙をめくる音を拾う。	現在のところ解決策はない。
マイクを通さないと声は聞こえない。	委員及び理事者は発言時にマイクのスイッチをオンにして、終了後にオフをする。 委員及び理事者は委員長の指名を受けてから発言する。 理事者の数を絞りマイク位置を変えて対応する。
三脚を設置するためのスペースが必要。 理事者及び傍聴者の数が多いと三脚を設置できない。	スペース確保と三脚への接触防止のため、第一、二委員会室においては理事者数を36名以内に絞る（地域・市民生活部43名、保健福祉部45名）。この場合、傍聴者は15名以内。
カメラの設置が低いと委員が重なる。	2m程度の三脚とし、脚の幅を狭めることで高さを天井付近までとする。
図書室1台のパソコンが1委員会当たり2時間占有される。職員の負担が増える。	当面は1台で対応する。作業を職員で分担し、翌々日中までに公開できるようにする。
全ての委員会の中継を行うと4台のビデオカメラと三脚が必要になる。	4台のビデオカメラと三脚を購入すると、大きな支出を伴い、また図書室1台のパソコンで作業することにも難しいところがあるので、当面、常任委員会のみの中継とする。
不規則発言への対応。	録画のため、公開しない限り影響はない。 不規則発言をカットする編集のため、通常より公開を遅らせる。